

2022年度 環境データ集

<事業活動で発生する環境負荷の削減>

事業活動で発生した廃棄物は関連法令に沿って処理しなければなりません。ユーコープは法令やルールに従うだけでなく、法令の主旨を積極的に理解して、排出削減やリサイクルに取り組んでいます。

また、大切な資源である水を無駄にしないよう節水にも取り組んで、事業活動による環境負荷を少なくするようにしています。

2022年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による供給高増が落ち着いたため、2021年度と比較して廃棄物の排出量は減少しました。(2022年度供給高 2021年度比98.1%)



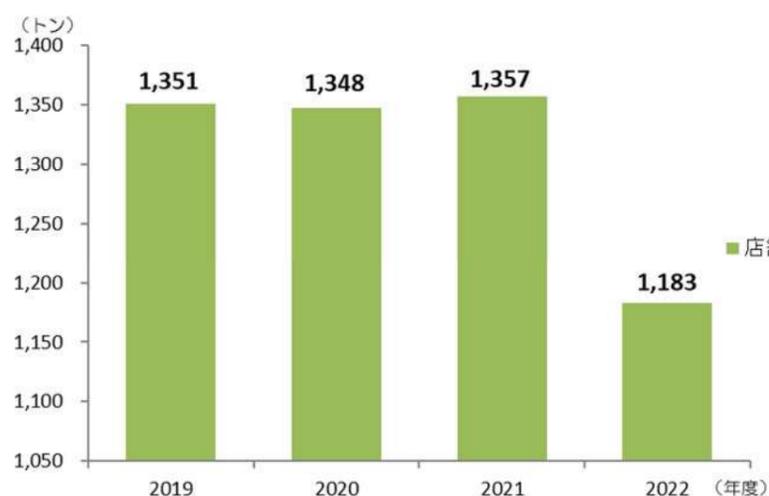
一般廃棄物（可燃ごみ）排出量の推移

事業所で発生する廃棄物のうちリサイクルの可能な食品残さ（3種類）と廃プラスチックは分別・リサイクルすることで可燃ごみの排出量を減らすようにしています。



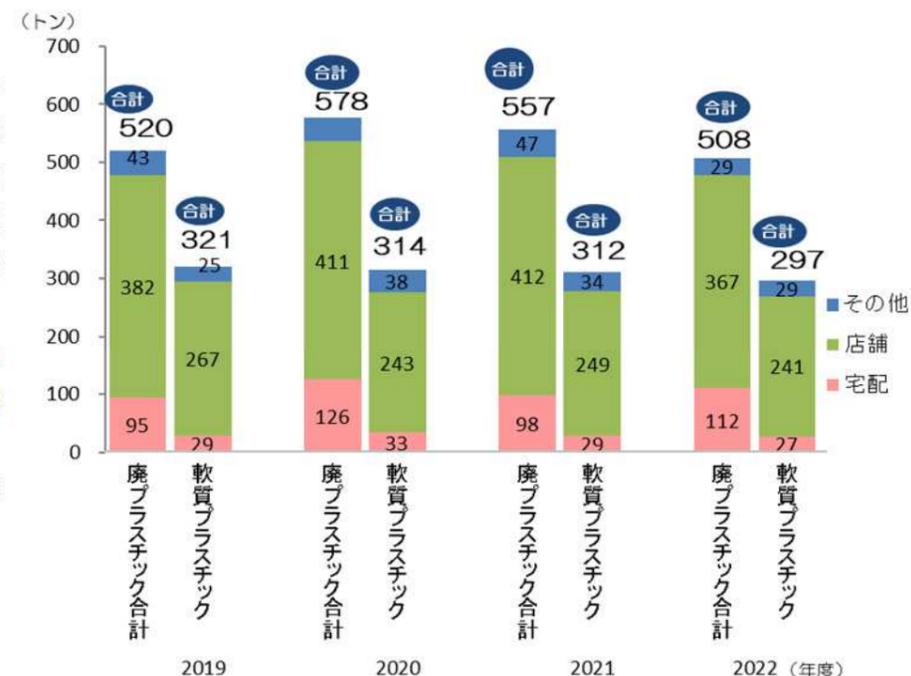
食品残さリサイクル量（廃食油、魚アラを含む）の推移

店舗で発生した葉くずや廃棄食品、魚アラなどの食品残さは、分別した後、専門業者に委託して飼料や肥料にしています。店舗で不要になった廃食油も飼料や洗剤などにリサイクルしています。



プラスチック製品産業廃棄物排出量の推移

2022年4月に施行された「プラスチック資源循環促進法」に基づきユーコープでは商品の容器・包装などの軟質プラスチックの排出量を前年度より削減するという目標を掲げ、取り組みを進めています。また、プラスチック製品産業廃棄物の一部は焼却熱で発電するなど再利用をしていますが、再利用の取り組み拡大についても検討しています。



上下水道使用量の推移

水使用量が多い事業所に節水機器を設置して、節水に取り組んでいます。2022年度までに23店舗に節水バルブを導入し、次年度以降も継続・拡大する予定です。



※各グラフの事業別その他…コープリサイクルセンター、福祉事業、エリア事務所、物流センター、本部。

ただし、可燃ごみ排出量・水道使用量には、物流センター、本部の実績は含んでいません。また、可燃ごみ排出量には商品検査センターの実績は含んでいません。